

保護者各位

江東区立第一亀戸小学校
校 長 中村 和弘
保 健 室 より

水筒を持ち歩くときの転倒事故に注意！

毎日、水分補給のために水筒を持たせているご家庭が多いと思いますが、転倒した際に首や肩にかけていた水筒がお腹に当たり、内臓を損傷する等といった思わぬ事故が発生しています。

消費者庁・国民生活センターには、水筒を持ち歩くこどもの転倒事故についての情報が、医療機関から寄せられています。

- ・「水筒(1 リットルの容器)を斜め掛けにして歩いていたところ坂道で転倒し、地面と水筒に挟まれる形で腹部を強打した。脾損傷のため集中治療室に入院し、保存加療で 10 日後に退院した。」(9 歳)
- ・「通学中に友人と追いかっこをしていたところ転倒し、斜め掛けしていた水筒が腹部の右側に当たった。痛みと嘔吐があり救急搬送され、小腸破裂、汎発性腹膜炎のため緊急手術の上、集中治療室に入院した。」(10 歳)

こどもは転倒しやすい、転倒した際に反射的に手をつくといった動作が取りにくい等の特徴があります。

またこどもは腹部臓器の占める割合が大きい、お腹周りの筋肉が弱い等の理由から、腹部に外から力が加わった場合に内臓損傷が起こりやすいとされています。



>>こどもに水筒を持ち歩かせるときのお願い<<

- ・ 登下校時、水筒はランドセルなどの通学用かばんや手提げ袋に入れて持たせてください。
- ・ 校内では、水筒をかけたまま走ったり遊ばないように指導しています。
- ・ 校外でも、遊ぶときには水筒を置いて遊ぶ、斜めがけにして持ち歩かないなど、安全面についてお声がけください。

出典:消費者庁ウェブサイト

(https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/project_001/mail/20230825/)